



研究開発部門への期待

代表取締役副社長 北 川 武

世界の技術開発の発展は素晴らしい。此の50年、いや20年の進歩を見ると正に目を瞠るものがある。宇宙開発、原子力、エレクトロニクス、石油化学等その範囲も広汎に及んでいる。

此等は世界各国の国家機関、大学、財団、企業等各々の研究部門が相互に誘発し、牽連し合い乍ら形成したものである。

企業の研究部門は、企業の維持発展の為存在するが、延いては世界人類の維持、発展にも貢献し続けている。

企業の維持の為とは、企業が現在行なっている事業の為の原料、生産、生産環境、販売に亘る研究並びに協力であり、企業の発展の為とは将来企業が行うべき事業の研究開発である。

従って、企業の研究開発部門は企業と共にあり、企業のトップを含め各部門との連繫によって其の成果は充実倍加される。

当社に於ても今次の機構改革に於て上記の連繫動作が意図されているが、更には企業外各機関との連繫も計りつつ、其の成果を挙げられんことを研究開発部門に期待する。